



第76期 中間株主通信

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

この度の台風等の災害により被災されました皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

第76期第2四半期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の業績につきまして、ご報告申し上げます。

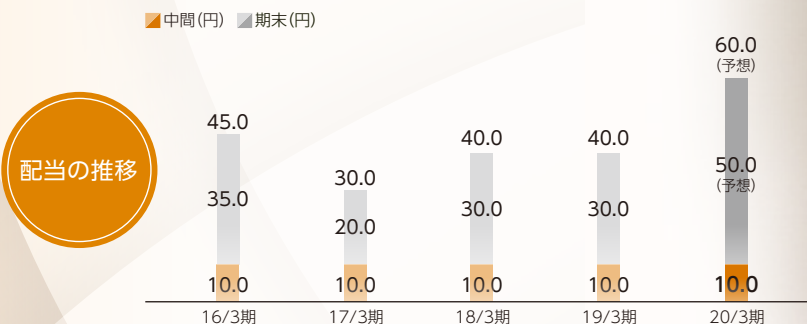
当第2四半期は、国内の建設用鋼材需要はやや低調でしたが、製造・販売各部門の取り組みにより、前年同期の業績を上回ることができました。海外鉄鋼事業については、地域によりばらつきはあるものの、全体として好調でした。

これらの結果、当社グループの連結売上高は1,240億2千3百万円(前年同期対比12.0%増)、連結営業利益は101億9千1百万円(同135.8%増)、連結経常利益は97億8千1百万円(同145.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は60億1千万円(同97.9%増)となりました。

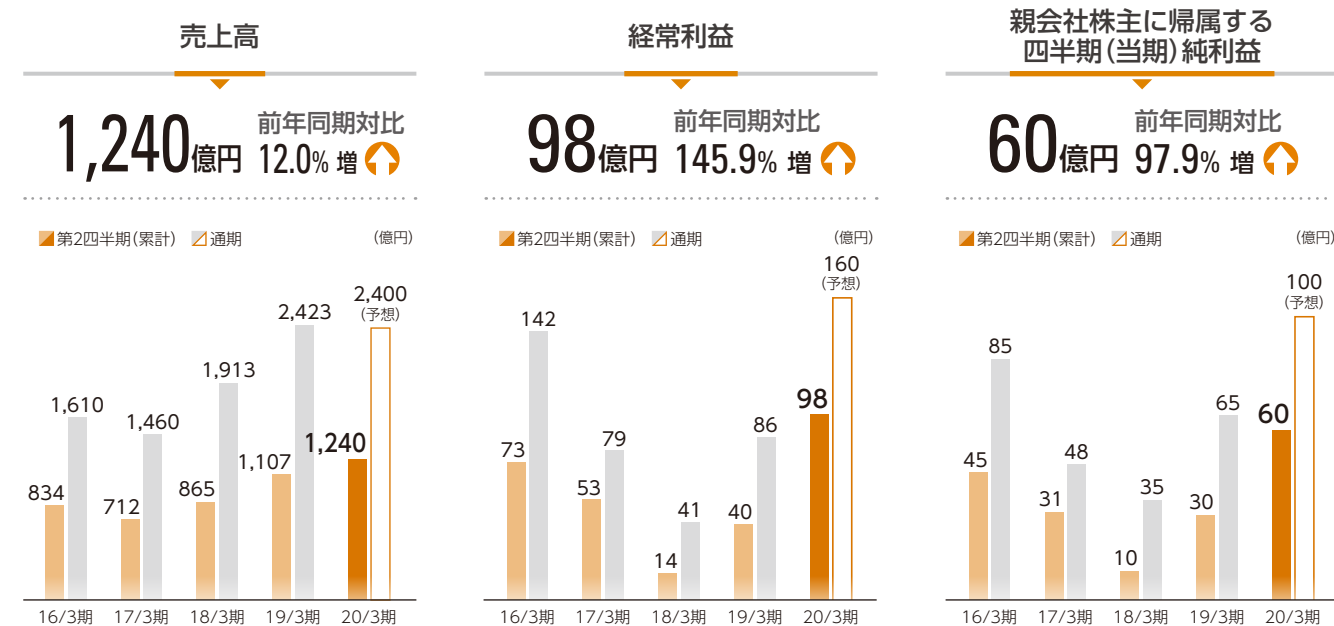
なお、当期における1株当たりの中間配当につきましては、期初予想通り10円とさせていただきます。期末配当につきましては、今期の業績動向を踏まえ、従来予想より20円増配の50円とし、通期で60円を予想しております。これは、当社としては過去最高の1株当たり配当額となります。

当社グループは、中期経営計画「Quality Up 2020」の下、これからも質の高い企業を目指して全社一丸となって取り組んでまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

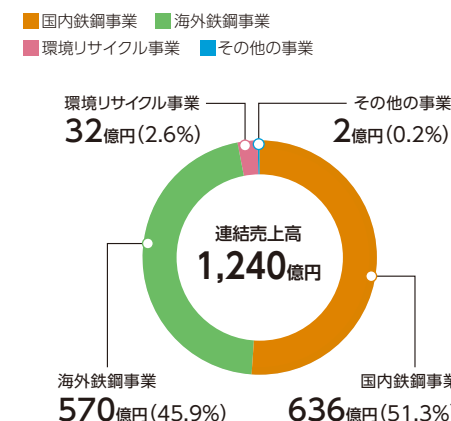
代表取締役社長 **廣富 靖以**



第2四半期決算ハイライト



セグメント別業績



		前第2四半期(累計)		当第2四半期(累計)	
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	前年同期比(%)
国内鉄鋼事業	売上高	61,679	63,579	+3.1	
	営業利益	3,451	7,875	+128.2	
海外鉄鋼事業	売上高	45,593	57,005	+25.0	
	営業利益	1,066	2,452	+130.1	
環境リサイクル事業	売上高	3,263	3,203	△1.8	
	営業利益	532	442	△17.0	
その他の事業	売上高	183	236	+28.5	
	営業利益	△73	62	-	
調整額	営業利益	△652	△640	-	
	計	売上高	110,718	124,023	+12.0
	営業利益	4,323	10,191	+135.8	



足元の業績に甘んじることなく、 中期経営計画の下、 より強く、質の高い 企業グループを目指します。

代表取締役社長 ひろ とみ やす ゆき
廣富 靖以

第76期(2020年3月期)上期の業績について

国内鉄鋼事業、海外鉄鋼事業は 大幅増益となりました。

国内鉄鋼事業については、鉄スクラップ市況軟化の影響により、国内の鋼材市場では需要家の様子見が続いたことから、製品出荷量は前年同期対比1.2万吨減の83万吨となりました。原材料である鉄スクラップの価格が期初より下落傾向で推移しましたが、製造コストの高止まりなどを背景に製品価格の維持に努めたことから、メタルスプレッド(製品価格と原材料価格の差)が前年同期対比でトンあたり約9千円拡大し、前年同期対比増収増益となりました。

海外鉄鋼事業については、ベトナム南部のビナ・キョウエイ・スチール社(VKS社)はフル生産を維持し、原材料調達の効率化や積極的な販売政策などにより、前年同期に比べ大幅に業績を改善しました。ベトナム北部では、同業他社の生産能力増強で南部よりも競合環境が厳しく、昨年買収したベトナム・イタリー・スチール社(VIS社)は黒字に至りませんでした。一方、キョウエイ・スチール・ベトナム社(KSVC社)は、製造コスト削減や細かな購買・販売管理などにより、回復基調で推移しました。米国においては、前期後半に高騰した製品市況が調整局面に入りながらも高水準で推移し、概ね計画通りの収益を上げることができました。環境リサイクル事業については、売上高・営業利益と

も前年同期対比で減少しましたが、難処理廃棄物案件への注力などによって一時の低調期からは脱しつつあり、回復基調を維持しております。

下期の事業環境と通期の見通しについて

国内・海外ともに厳しい事業環境の中 通期経常利益は中期経営計画の目標値を 超過達成する見通しです。

続いて、2020年3月期通期の見通しについてご説明いたします。

国内鉄鋼事業については、世界経済の先行き不透明感を背景に、国内でも需要家の様子見が当面続くものと思われる。一方で、鉄スクラップ価格は当初の想定を下回る水準で推移することが見込まれるため、利益面では当初計画を上回る見通しです。ただし、期初から下落基調で推移してきた鉄スクラップ価格が底打ち反転する可能性もあり、先行きについて楽観はできません。上期以上にきめ細かな営業戦略、コスト削減努力が求められると考えております。

海外鉄鋼事業については、上期よりも厳しい事業環境を予想しております。ベトナムでは激しい価格競争が続いており、特に北部の2社は苦戦が予想されます。2社間の連携をさらに強化するなど様々な対策を打ち、利益の確保を図ります。また、これまで競合環境が比較的落ち着いた南部市場にも、価格競争の影響が及びつつあります。これに対しVKS社では、20年以上かけて

培った強固な販売網を活かしつつ、さらにコスト削減を進めて業績の維持に努めます。

米国では、好調な鉄鋼需要が続いてきましたが、今後、鉄鋼需要の減速が懸念される状況にあります。

環境リサイクル事業については、上期と同程度の営業利益を予想しております。

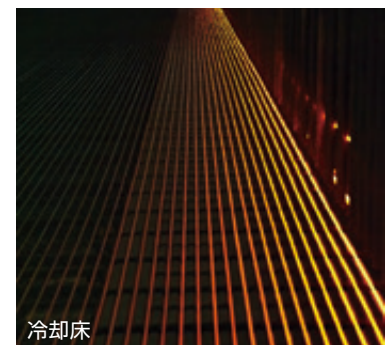
このように、下期の事業環境は全体として上期よりも厳しくなることが想定されますが、通期では国内鉄鋼事業の営業利益が期初予想を大幅に上回る見通しであることなどから、2020年3月期の通期業績については、期初予想を修正いたしました。連結売上高は2,400億円、連結営業利益は165億円、連結経常利益は160億円、親会社株主に帰属する当期純利益は100億円を予想しております。売上高は前期を下回るものの、利益面では、2021年3月期を最終年度とする中期経営計画「Quality Up 2020」で定めた目標である「経常利益140億円」を超過達成する見通しです。

しかしながら、当中期経営計画で掲げている「質の強化」については、各種の取り組みが継続中であり、100年企業を目指す中で、課題はまだまだ数多くあると考えております。数値目標の達成のみで満足するのではなく、経営力・現場力・社員力の向上を目指す「3つのQuality Up」の実現に向け努力を重ねていくことで、より強い共英製鋼グループを作り上げていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

鉄資源を再生することで 循環型社会の実現に貢献しています

当社グループでは、鉄スクラップを電気炉で溶かし、鉄をつくる電炉業を行っています。原材料となるのは役割を終えた鉄。自動車や建築物などさまざまな形で使われた後に廃棄される鉄を回収し、社会インフラを支える鉄鋼製品として再生しているのです。いわば事業そのものがリサイクル産業。当社グループの事業は、循環型社会を支える重要な役割を担っています。



冷却床

▼冷却後、切断・結束され、製品置き場に保管され出荷されます。



▼当社製品は、ビルやマンション、橋などの建設資材として、目に見えないところで社会を支えています。



なんと! 工場の排水もリサイクル。

全事業所で設備や製品の冷却に使用した水をろ過し、再利用するクローズドシステムを導入。周辺環境へ影響を与えないよう、排水を循環して使用しています。

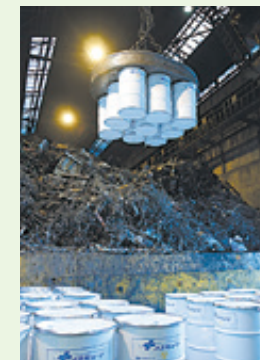


▲クローズドシステムの水処理設備

なんと!

医療廃棄物もリサイクル。

鉄スクラップとともに医療廃棄物を高温の電気炉で溶融することで、廃棄物に含まれる鉄のリサイクルと廃棄物の完全無害化処理を可能にしました。



▲医療廃棄物

鉄スクラップの受け入れ

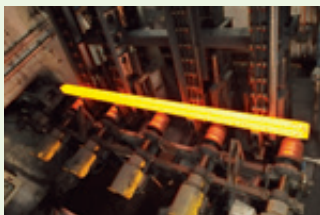


鉄スクラップ

◀受け入れた鉄スクラップは、形状・厚み・状態等により細かく分類されます。



なんと! 地下トンネルで省エネ。



▲枚方事業所 地下トンネル

枚方事業所は、製鋼工場と圧延工場の間に市道が走るという特殊なレイアウト。工場間に地下通路を設けることで高温の半製品(ビレット)をダイレクトに運べるようになり、大幅なエネルギー削減が実現しました。

何台もの圧延機を通してさまざまな形状の製品に仕上げられています。



半製品(ビレット)



電気炉

▲電気炉にて溶解し、成分調整や不純物の除去を行います。



出鋼

◀出鋼時の溶鋼の温度は、1,600℃になります。

なんと!

周辺の空気を汚しません。

建屋をぐるりと囲む太いパイプは集塵機につながっています。鉄スクラップを溶融する際に発生する粉塵はここでろ過し、クリーンな状態にして排出しています。



▲集塵機

TOPICS

ベトナム港湾事業の第2期事業計画を実行します。



鉄スクラップの荷揚げ

ベトナム南部で港湾事業を手掛ける当社子会社チー・バイ・インターナショナル・ポート社(TVP社)について、第2期事業計画の実行を決定しました。第1期事業は2018年1月に国際一般港として操業を開始し、現在は当社子会社ビナ・キョウエイ・スチール社の原材料である鉄スクラップ等を主に取り扱っています。TVP社が位置するカイメップ・チーバイ港湾地区では、貨物量の増加により港湾利用のニーズが高まっています。第2期事業では、需要の大きい穀物等を取り扱う予定であり、2022年1月の開港を目指しています。ベトナム南部の主要物流拠点の一つとして、今後も同国の経済発展に貢献してまいります。

テレビ番組「賢者の選択 FUSION」にて紹介されました。

このたび、全国ネットのビジネス番組「賢者の選択 FUSION」にて当社が紹介されました。番組では、ナビゲーターの蟹瀬誠一氏と廣富社長との対談をメインに、当社グループの事業内容や、地域貢献、働き方改革の取り組み、今後のビジョンなどを説明しました。普段は見ることのできない製造現場の様子が多く盛り込まれています。番組公式サイトにて配信されておりますので、ぜひご覧ください。(当社ウェブサイトからもアクセスしていただけます。)



スタジオ収録時の廣富社長



工場での撮影風景

番組公式サイト https://kenja.jp/10730_20191001/



特集

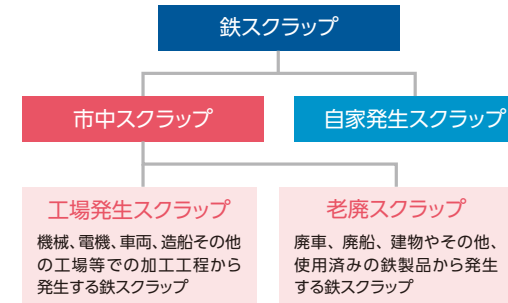


もっと知りたい、共英製鋼 Vol.05 鉄スクラップ編

鉄スクラップにはどんな種類がありますか?
工場発生スクラップや老廃スクラップなどがあります。

鉄スクラップには、大きく分けると「市中スクラップ」と「自家発生スクラップ」があります。「自家発生スクラップ」は鉄鋼メーカー内で発生するもので、市場にはほとんど流通しません。「市中スクラップ」はさらに2つに分けられ、機械や船舶、車両などの製造工程で発生する「工場発生スクラップ」と、解体した建物や廃車、使用済みの鉄製品などから発生する「老廃スクラップ」があります。

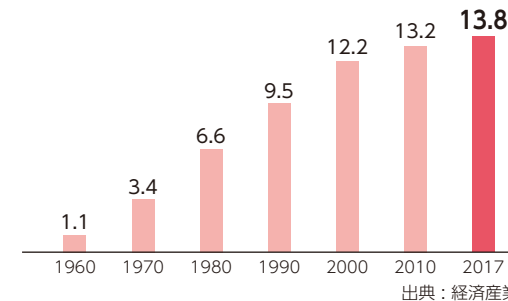
鉄スクラップの種類



鉄スクラップは、年間どのくらい発生するのですか?
2017年度はおよそ4,200万トンでした。

鉄は、ビルや橋といった建造物から鉄道、自動車、家電、カッターの刃にいたるまで、さまざまな形で使われています。このように国内で使われ、何らかの形で残っている鉄の総量のことを鉄鋼蓄積量といいます。毎年、鉄鋼蓄積量の約3%が社会での役目を終えて鉄スクラップとして回収され、新たな鉄鋼製品の原材料となります。

日本の鉄鋼蓄積量推計 単位: 億トン



世界のスクラップ輸出量ランキング (2017年)

1位	米国	1,502万トン
2位	イギリス	940万トン
3位	日本	821万トン
4位	ドイツ	817万トン
5位	フランス	618万トン

出典: 世界鉄鋼協会

世界と比べて日本の鉄スクラップ量は多いのですか?
日本は世界第3位の鉄スクラップ輸出国です。

現在、世界の鉄鋼蓄積量は約292億トンで、そのうち日本の鉄鋼蓄積量は約14億トンと推計されています。実は、日本は世界有数の鉄資源保有国。海外にも鉄スクラップを輸出しており、米国、イギリスに次ぐ、世界第3位の鉄スクラップ輸出国となっています。資源の少ない日本において、鉄スクラップは自給可能な大切な資源です。当社グループでは、この鉄スクラップを新しい鉄鋼製品へ再生するという重要な役割を担っています。

決算情報

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末	当第2四半期末	科目	前期末	当第2四半期末
	2019年3月31日現在	2019年9月30日現在		2019年3月31日現在	2019年9月30日現在
資産の部					
流動資産	161,916	152,787	流動負債	79,900	67,923
固定資産	99,674	98,844	固定負債	27,909	25,988
有形固定資産	81,617	80,557	負債合計	107,809	93,912
無形固定資産	6,508	6,038	純資産の部		
投資その他の資産	11,549	12,249	株主資本	136,507	141,247
資産合計	261,590	251,631	その他の包括利益累計額	6,900	5,932
			非支配株主持分	10,374	10,541
			純資産合計	153,781	157,719
			負債・純資産合計	261,590	251,631

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期	当第2四半期
	2018年4月1日～ 2018年9月30日	2019年4月1日～ 2019年9月30日
売上高	110,718	124,023
売上原価	99,667	106,703
売上総利益	11,051	17,320
販売費及び一般管理費	6,728	7,128
営業利益	4,323	10,191
営業外収益	462	860
営業外費用	808	1,270
経常利益	3,977	9,781
特別利益	610	52
特別損失	218	446
税金等調整前四半期純利益	4,369	9,387
法人税等	1,204	2,806
四半期純利益	3,165	6,581
非支配株主に帰属する四半期純利益	128	571
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,037	6,010

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期	当第2四半期
	2018年4月1日～ 2018年9月30日	2019年4月1日～ 2019年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△3,348	16,319
投資活動による キャッシュ・フロー	△12,785	3,632
財務活動による キャッシュ・フロー	7,230	△6,478
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△215	△85
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△9,119	13,388
現金及び現金同等物の 期首残高	29,299	26,407
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	1,288	-
現金及び現金同等物の 四半期末残高	21,468	39,794

株式情報

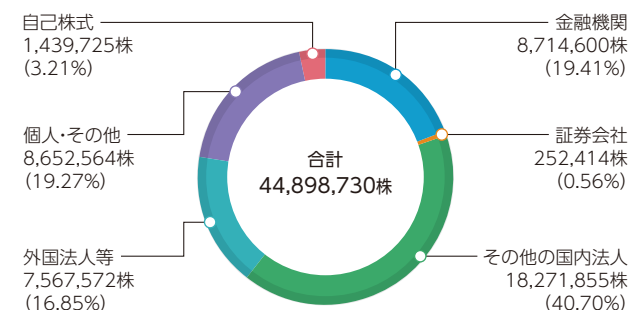
株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	150,300,000株
発行済株式総数	44,898,730株
株主数	3,606名
大株主	

株主名	持株数	持株比率 ^{*1} _{*2}
日本製鉄株式会社	11,592,932株	26.68%
高島 秀一郎	4,347,460	10.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・ エア・ウォーター株式会社退職給付信託口)	2,600,400	5.98
高島 成光	2,233,000	5.14
三井物産株式会社	1,470,000	3.38
合同製鐵株式会社	1,347,000	3.10
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,241,466	2.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,075,200	2.47
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,013,500	2.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・ エア・ウォーター防災株式会社退職給付信託口)	692,000	1.59

※1 持株比率は、小数第3位以下を四捨五入して表示しています。
※2 持株比率は、自己株式(1,439,725株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況 (2019年9月30日現在)



会社情報

会社概要 (2019年9月30日現在)

商号	共英製鋼株式会社 (KYOEI STEEL LTD.)
設立	1947 (昭和22) 年8月21日
資本金	185億16百万円
従業員数	3,261名 (連結: 正社員)
主な事業	(1) 鋼片、各種鋼材、鉄鋼製品の製造・加工・販売 (2) 一般・産業廃棄物、医療廃棄物の収集・運搬・ 処分業および自動車リサイクル事業ならび に廃棄物再生資源化事業 (3) 鉄筋・ネジ鉄筋加工と組立工事 (4) 鉄鋼製造プラントの設計および鉄鋼製造技 術の販売
関係会社	関東スチール(株) 共英産業(株) (株)共英メソナ 共英リサイクル(株) 共英加工販売(株) ピナ・キョウエイ・スチール社 キョウエイ・スチール・ベトナム社 チー・パイ・インターナショナル・ポート社 ベトナム・イタリー・スチール社 ビントン・スチール社 中山鋼業(株) 他

役員 (2019年9月30日現在)

代表取締役会長	高島 秀一郎	上席執行役員	榎本 堅
代表取締役社長	廣富 靖以	上席執行役員	白石 愛明
取締役・専務執行役員	大田 和義	上席執行役員	国丸 洋
取締役・常務執行役員	坂本 尚吾	上席執行役員	北田 正宏
取締役・常務執行役員	鳴海 修	上席執行役員	横山 政美
取締役相談役	森 光廣	執行役員	川井 健司
取締役(社外)	新井 信彦	執行役員	川上 浩生
取締役(社外)	山尾 哲也	執行役員	篠田 昭雄
取締役(社外)	川邊 辰也	執行役員	小野 晃
常勤監査役	市原 修二	執行役員	前田 豊治
監査役(社外)	塚本 治	執行役員	松本 哲哉
監査役(社外)	宗岡 徹	執行役員	林 進
		顧問・フアンダー・名譽会長	高島 成光

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会	3月31日（その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。）
期末配当	3月31日
中間配当を行う場合	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031
公告の方法	電子公告とします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引市場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	5440

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

株主優待制度について

当社は、長期にわたり当社株式を保有いただいている株主の皆様のご支援に感謝するとともに、今後もより多くの方々の中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、株主優待制度を設けております。

保有株式数および継続保有期間に応じ、以下の優待品をお贈りいたします。

優待品／QUOカード

保有株式数	継続保有期間	
	1年未満	1年以上
100株以上1,000株未満	1,000円分	2,000円分
1,000株以上	2,000円分	3,000円分

- 優待品は6月下旬に発送いたします。
- 2018年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録されている株主様より適用を開始しております。
- 「継続保有期間1年」の認定につきましては、毎年3月31日を基準日として、前年の3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で連続して3回以上記載または記録されていることを条件といたします。

